

別紙 A

四日市版コミュニティスクール報告書（平成30年度総括）

四日市市立内部東小学校

校長 山田 喜久

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

この運営協議会は、内部東小学校の教育活動等に対して、地域全体で子どもを育てる体制をつくり、子どもたちの学習活動・環境の充実を図るとともに、家庭・地域の教育力を高め、さらには、地域のコミュニティの活性化を図ることを目的としています。

保護者や地域の声を反映した教育活動を進めるとともに、学校とともに子どもを育てる中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

「ふれあいまつり」



「ホタル学習」



「むかしのくらし」



「防災炊き出し体験」



「ボランティア活動」

本校は、「学童見守り隊」の方や保護者による登下校の見守り活動、「図書館ボランティア」による読み聞かせや掲示物の作成、クラブ動を外部



講師としての支援、「グリーンボランティア『森林づくり三重』」による学習の森の整備作業、「内部っ子はげまし隊」による剪定作業、クラブ活動など、様々なボランティアさんに支えられています。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

年間5回のコミュニティスクール運営協議会を開催し、さまざまな角度からの意見をいただき、教育活動に反映することができました。授業や行事の参観を通して、本校の教育活動全般についてご理解いただき、協議会の場では、様々な意見をいただきました。

10月の土曜授業は、PTA 主催のふれあいまつりとして、ゲストティーチャーも地域の方をはじめたくさんお招きすることで交流を深めることができました。今年度は、ホテルを守る会の方による授業、焼き芋大会など、新たに地域の方の力を借りた授業を行うことができました。今後も地域との連携を大切にすることによって、より豊かな人間性を育むことができると考えます。

3 今後に向けて

運営協議会では、学校教育活動に対して様々な意見をいただきました。

また、授業参観や行事の参観をしていただく中で、学校の現状を把握していただき、今後の取り組みについてもご意見をいただきました。保護者や地域の方々の思いを来年度の教育活動に反映させたいと考えます。

コミュニティスクール2年目となり、コミュニティスクールの活動を地域や保護者に浸透させるだけでなく、学校の思いを発信していく必要性をさらに痛感しました。学校の抱える課題、思いと地域の思いを整理し、中学校区で取り組みを進めるなど「地域とともにある学校づくり」に向けて、持続可能な体制整備（ヒト・モノ・コト）に取り組んでいきます。

別紙B

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立内部東小学校

委員長 諸戸 靖

校長 山田 喜久

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	5月10日(火) 第1回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> 委員の委嘱 会則・学校づくりビジョンについて 今年度の活動について
6		
7	7月3日(金) 第2回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> 校内参観 運営協議会の活動について
8		
9		
10		
11	11月7日(水) 第3回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> 学校集会参観 今後の取り組みについて
12		
1	1月15日(火) 第4回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観 学校評価について コミュニティスクールの取り組みについて
2	2月15日(金) 第5回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価の結果(総括) 来年度の方向性について
3		